



サポーター団長
清水健治さん

サポーター同士の交流も多く、
選手の応援ソングなども
皆で作上げていきます！
ぜひ一緒に戦い、
町田を盛り上げましょう！

information

10・11月の対戦カード

10/17(土) 湘南ベルマーレ 小田原アリーナ
10/24(土) バサジィ大分 町田市立総合体育館
11/ 1(日) YSCC横浜 町田市立総合体育館
11月から観客入場が可能になる予定です。最新の情報はペスカドーラ町田公式HPでご確認ください。

まちスポ

町田のアスリートを応援！

ASVペスカドーラ町田

教えて!ドーラくん!／



フリーグの魅力って？

いっぱいあるけど、選手たちの
熱気伝わるプレーが目の前の
距離で観戦ができるところ！



それは盛り上がるね♪

そうなのラ！



コートが広くないから得点シーンも
一瞬でくるから目が離せないラ！



ところで、ドーラくんって何の鳥なの？

町田市の鳥“カワセミ”ラ！



「ペスカドーラ」はポルトガル語
のカワセミ (Martim-Pescador)
と結びつき・絆 (Laco) を掛け合
わせた造語なのラ！



金山友紀選手
©ASV/PESCADOLA MACHIDA

感謝の想いをプレーで体現

5人対5人の熱き戦いが繰り広げられる「フットサル」。この国内最高峰リーグ「フリーグ」が9月5日、新型コロナウイルスの影響による延期を経て待望の開幕を迎えた。今季からホーム＆アウェイによる総当たり戦方式。昨季はディビジョン1で12クラブ中6位だった「ペスカドーラ町田」の上位争いに期待したい。

ペスカドーラは昨季、欧州チームで指揮した経験を持つルイス・ベルナト氏を監督に招聘。「ボールを動かし、緊いで相手を崩す」というクラブ伝統のパスワークスタイルに磨きがかかった年だった。今季は8月の日本代表候補トレーニングに参加した伊藤圭汰選手や室田祐希選手をはじめ、新規加入した若手・ベテランらがどう融合するのかが見どころとなりそうだ。主将・金山友紀選手は「フットサルができる感謝の気持ちをプレーで表現し、優勝を目指します」と意気込む。

10月末までは新型コロナウイルスの感染症対策により会場での応援は出来ないが、ペスカドーラの試合はインターネットテレビ「ABEMA (アベマ)」で全試合放送。地元・町田市民の応援が世界と戦えるトップクラブを目指すペスカドーラの力となる。

沢野ひとしの

町田絵日記



第2回 文学館通りの思い出

昭和48(1973)年、29歳の時に町田に引っ越してきた。その当時、小田急線の町田駅は「新原町田」、横浜線の町田駅は「原町田」と呼ばれていた。

原町田の駅前は、通称「かけ足道路」。バス、自転車、タクシーに加え、小田急線への乗り換えに急ぐ人々でいつもごった返していた。

本造駅舎はひと昔前の単線の雰囲気、で、辺りにはまだ戦後の「訳あり」の面影が残っていた。私はとりわけこういう雑多な町が好きで、暇を見つけるとあてもなく歩き回り、本屋、文具店、楽器・レコード店、古着、そして町田仲見世商店街にすり寄っていた。乾物屋がたくさんあるのは驚くと同時に、「町田はいい」と安堵するものがあった。

ある夏の夕暮れに路上で古本を売っている屋台があった。本を買い、主人に「この辺にいい飲み屋がありませんか」と尋ねると、「地元の者じゃないから」と首を振った。

すると、本を物色していた白い開襟シャツを着た白髪まじりのおじさんが、「まあ、ついておいで」と案内してくれた。そこは、現在の文学館通りの居酒屋であった。しもた屋風の平屋で、窓には日に焼けたスダレ

がぶら下がっていた。

畳の席にあぐらをかくと、おじさんは「冷えたビールにぬた」とこちらの好みも聞かずに注文した。私が購入した古書の吉本隆明の「共同幻想論」を見て、「若いね」とニヤリと笑い、自分の買った若山牧水の分厚い研究書をチラリと見せてくれた。

二本目のビールに冷酒が追加され、古本あさりの談義が佳境に入ってきた。いくらこちらが酩酊してきたので、自分の分を支払おうとサイフを開くと、相手は手を振り「またこの店に来て」とご馳走してくれた。ラジオからは、小さく小柳ルミ子の「瀬戸の花嫁」が流れていた。

その後何度か店に行き、おじさんといつも本の話をしていた。友人と同人雑誌「本の雑誌」を出すようになると、会うたびに手渡した。

月日が経ち、まさか町田市民文学館のポスターを自分が描く日が来るとは思ひもしなかった。あのおじさんに渡そうとしたが、60歳を前に亡くなってしまっていた。

銅版画の基礎を学ぶために、国際版画美術館にもよく通った。文学館通りから坂道を下りて行くと、秋の日などキンモクセイの香りが、甘く漂っていた。



■文・イラスト：沢野ひとし (さわのひとし)

町田市在住のイラストレーター、エッセイスト。七国山から野津田公園が散歩道。著書に「中国銀河鉄道の旅」「人生のことはすべて山に学んだ」「ジジイの片づけ」などがある。第22回講談社出版文化賞さしえ賞受賞。